

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

4 年 1 組		指導者	井上孝弘	教科等	国語
単元	単元名等		未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくをつたえよう		
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>		
	知識及び技能	知識・技能	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づけるようにする。 【知・技（3）オ】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆ <u>目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるようにする。</u> 【思・判・表 B（1）ウ】 ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができるようにする。 【思・判・表 B（1）ウ】		
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○積極的に、中心となる語を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にしたりして、学習の見通しをもって、書き方を工夫して、調べて分かったことをまとめて書こうとするようにする。 【学びに向かう力・人間性等】		
	単元の学習展開（全 1 2 時間）				
	導入	□単元の学習計画を立て、学習の見通しをもつ。			
	展開	□要約した文章を紹介しながら、筆者の考えについて考えたことを伝え合う。 □選んだ工芸品について調べ、考えた組み立てに沿って文章を書く。			
終末	□完成したリーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 □「ふりかえろう」で学んだことを確認する。				

本時 （3 / 全 1 2 時間）	ねらい	未来につなぐ工芸品の説明について、 筆者が伝えたいこと意識しながら、「初め」「中」「終わり」のまとまりごとに考えたり、中心となる語や文を考えたりすることによって、 <u>200 字以内で要約できるようにする。</u> 【思考・判断・表現 ロイロノートの記述】		
	学習過程	「めあて」 「未来につなぐ工芸品」を 2 0 0 字以内で要約しよう。		
		「振り返り」 「初めに、筆者の思いが書かれていることがわかった。中心となる語や文を見つけると要約することができた。」		
	努力を要す状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】 中心となる語がみつけれられない 漢字が読めない	【必要な支援・手立て】 ・グループ学習を通して、友だちの意見や考えを参考にして考えさせる ・授業の交流で、発表した児童の発言をまとめた板書を参考にして考えさせる ・「学習の手引き（漢字の読み）」を示す	